

滋賀県レイカディア大学 同窓会

甲賀・湖南支部だより

第14号

滋賀県レイカディア大学
同窓会 甲賀・湖南支部
発行責任者 橋本 元夫
TEL 0748-88-3730

< 主な内容 >

支部長あいさつ 橋本 元夫(23期 園芸).....	P2
本部表彰受賞者のことば 米寿に思う 藤川 一二三(12期 園芸).....	P3
地域活動記 土山地区の現状 森本 源一(25期 園芸).....	P3
第7回地域活動事例発表会を聴講して 小林 和雄(22期 陶芸).....	P4
同好会活動記 里山ハイキング同好会 会長 菊本 洋三(28期 スポ).....	P5
グランドゴルフ同好会 会長 木田 勝彦(22期 スポ).....	P6
支部からの報告 総務研修部 部長 植西 偉文(28期 陶芸).....	P7
健康福祉部 部長 奥本 静子(31期 生活).....	P8
第2回グランドゴルフ大会 村上 紘一(23期 スポ).....	P8
広報文化部 部長 北阪 佳央(34期 園芸).....	P9
みんなの広場 俳句 堀井 辰雄(18期 園芸).....	P9
健康談義 北阪 佳央(34期 園芸).....	P10
編集後記	



支部長 あいさつ

ボランティア活動に参加しましょう

支部長 橋本 元夫 (園芸 23期)

新しく支部長に就任してから早一年が経過しました。この間 会員皆様には絶大なご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

26年を振り返ってみるとき、組織の活性化をめざしプロジェクトチームを立ち上げ多方面に亘って、熱心に協議検討してまいりました。結果として、組織を変えたり、同好会を増やしたりするような大幅な変革は、活動の実態から困難であるとの、結論でした。つまり支障になったものからコツコツと改善して行こうと言うことです。

さて事業活動につきましては、事業計画に基づき各部の部会で具体的な内容を決め実施してまいりました。この間各部の担当理事さんの大変な努力と多くの会員さんの参加を頂き順調に実施でき有難うございました。

藤岡茂樹様には、新人歓迎会で「百聞は一見に如かず描く旅」と題してマチュピチ編を講演して頂き、竹内重行様には本部事業地域活動事例発表会で「ささゆりから学ぶ里山の現状と今後」と題して日常の活動を発表して頂き有難うございました。

特筆すべきこととして従来年1回の『支部だより』を発行してきましたが、26年は4回も発行してもらいました。予算に制約があるため手持ちのパソコンで多くの原稿を入力し、頑張って頂きました。また記事の内容においても、ボランティア活動や研修結果の発表、旅行等の体験記事を多く取り入れ魅力のあるものになり、広報部の皆さんの努力に感謝申し上げます。

また福祉健康部においては、事業項目になかったボランティア活動についてのアンケート調査を実施しました。資料の作成に当たっては各方面の専門的な知識や、他の機関で実施された事例等の資料を収集され、その努力に感謝します。

自主活動されているGG同好会におかれましては、水口のGGや甲西の親水公園、甲南GG場などで7回と多く実施されました。

また、里山ハイキングでは東海道石部宿、長寿寺散策と京都花見(哲学の道付近)の2回行われました。それぞれ案内状の発送や会場確保、現地の下見等、役員様にはお世話になりご苦労さんでした。また多くの会員の方に参加して頂き誠に有難うございました。

27年度はボランティア活動に重点を置き、皆さんの意識啓蒙に取り組んでまいりたいと思います。早々にアンケート結果を集約して、今後の事業に反映し取り組んでまいります。

また本部でホームページに本格的に取り組むことになり、各支部1名の担当者を選任、本部で研修し、レベルが揃ったところで各支部一斉に立ち上げることになっています。当支部では、甲南の中嶋譲司様が快く引き受けて頂きました。現在HPは「レイ大同窓会」と入力すれば表示され、甲賀・湖南支部と進みますと支部通信1号～3号までが入力されています。

以上新年度を迎えるに当たり所信の一端を述べ、会員皆様のみますますのご健康を念じ挨拶とさせていただきます。



本部表彰受賞者の言葉

平成26年5月26日に行われた本部定期総会で、当支部から

藤川一二三氏(12期・園芸卒)

城宏衛氏(17期文芸・卒)

堀多喜男氏(23期・園芸卒)

の3氏が受賞されました。心からお祝い申し上げます。

城様と堀様の受賞者の言葉は「甲賀・湖南通信(NO2)」に紹介させていただいております。

今回、藤川様から投稿いただきましたので紹介させていただきます。



米寿に思う

藤川 一二三(園芸 12期)

レイ大卒業後23年余月経った。これといって趣味のなかった私でしたが、園芸学科にて植物の習得により色々な鉢物作りに「チャレンジ」し、昨年までに500鉢を数えた。

その間、市内の特養や公民館等に環境美化のボランティアをし、市老人クラブや県社会福祉協議会より篤行などの表彰を頂き、大学での学びのお蔭と感謝し頑張っていたが、1昨年頸髄の手術をし、盆栽は友人や知人の皆さんにお世話頂くこととし引き取って頂いた。現在、残り50鉢余は、退院後のリハビリにと世話をしして元気を取り戻している折、昨年同窓会より米寿のお祝いをして頂き「心力」をつけ、人生の節目を一つ越え、感謝・感謝です。ありがとうございます。今後は、春に花、秋には紅葉と体力の続く限り、健康寿命を念じ、育緑愛花を楽しみ精一杯卒寿へと過ごしたいと思っています。



地域活動記

土山地区の現状

森本 源一(園芸 25期)

土山地区は、レイカディア大学までは遠いというイメージが払拭できないのか、ここ7、8年同窓会会員8人という時が続きましたが、今やっと12人の会員となりました。年齢幅も広く、地域的にも東から西まで広く一堂に会す機会もなかなか思うようにならないのが現状です。

同窓会入会当時は、土山地区独自の行動として地域内の神社・仏閣・施設を訪問しいろんな話を聞き、

貴重な品を拝見したりし、年1回の勉強の場として歴史を学んできました。

現在では年齢幅がより広がり全会員が統一した行動をとることが難しくなり、年度末に総会を兼ねて全員が集合、同窓会本部、支部の活動報告会を開き、全ての人が今なお携わっている個々のボランティア活動を話し合っています。

例えば、地域起こしのリーダーとして長年名所づくりに尽力している人、自治振興会の指導者として公民館教室のリーダー、社会福祉協議会の事業の後押し、小学校の登下校の交通安全指導の普及に、毎月各自治会で開く老人憩いの場(サロン)の責任者等それぞれの活動状況の話で時間の経つのも忘れ、和やかなひと時を過ごすのが、土山地区会員が集う唯一の機会です。お互いが元気でレイカディア同窓会の会員として誇りを持っていつまでも細やかながら地域に奉仕が続けられればと各々が努力しているところです。



第7回地域活動事例発表会 (竹内氏の発表) を聴講して

小林 和雄 (22期 陶芸)

平成27年1月23日(金) 近江八幡市ひまわり館において、本部主催の第7回地域活動事例発表会が9支部約130名の聴講者が集まり開催されました。

当、甲賀・湖南支部から、33期園芸学科卒の竹内重行氏が「ささゆりから学ぶ里山の現状と今後」と題して発表されました。

学生時代の課題学習から始まり、卒業後、「みなくち子供の森」を活動の場とし、「ササユリサポート隊」を編成、当初4人であった隊員が現在は14人。甲賀市の花「ささゆり」が里山から消えた。所謂、里山が退化し、人工林が悪影響してい

る。球根の植え付け・移植等の活動を行い、6月には「鑑賞会」を開催、タウンミーティングも行うようになった。というすばらしい内容でした。

各支部からの発表も聴講して、レイ大同窓会会員のみでなく、卒業生及び一般の高齢者が参加し、協力しあって各事業に従事されていることに、感動いたしました。



同好会活動記

里山ハイキング同好会

会長 菊本 洋三 (スポウ 28期)

現在22名の会員で、年に3回の行事を計画しています。3年前の頃は、三上山、雪野山、霊山等結構な山登りをしていました。最高齢は80歳、20名が70歳以上という高齢の同好会ですので今年度は名前のおとり里山歩きを計画しています。

参加者は概ね10名以下というところです。会員の方々もいろいろ予定がある中、体調が悪い、腰が痛い、膝が痛いと言いながらも同好会に名前を残し、一緒に歩きたいという気持ちをお持ちなのでありがたいと思います。



【平成26年度 活動報告】

1. 4月花見ハイキング

京都へ出かけました。参加者9名 平成26年4月7日、JR山科駅に集合、地下鉄蹴上駅から歩き始め、桜は満開、お天気は上々最高の花見ができました。

疎水の軌道周辺では、ウエディングドレスのモデルカップルが写真撮影のキスシーンには驚き！

南禅寺を経て金戒光明寺で昼食後、白川通りを超え、京の花見の定番「哲学の道」へ。満開の桜のトンネルを、人をかき分け銀閣寺道まで水面の花筏を楽しみながら約2km歩きました。花見を満喫した思いを胸にバス、京阪、JRを乗り継いで帰りました。

2. 岩尾山・障息寺八十八か所めぐり

天気予報が悪く、前日午後7時の時点で中止の決定をしました。

当日は晴れ間もあり残念な気持ちもありましたが、ぬかるみで足を滑らす危険を避けられたと思いました。

3. 石部散策ハイキング

11月19日 参加者6名

東海道51番目の「京立ち、石部泊まり」と言われる石部宿周辺を歩きました。

「湖南三山めぐり」のイベント最中でした。银杏の落ち葉を踏みしめ、紅葉のトンネルをくぐり長寿寺本堂に入る。住職の奥さんの本尊子安地蔵にまつわる笑いを入れた講和は面白

かった。

石部宿歴史民俗資料館を見学の後、公園の陽だまりで昼食。

高札場、立場、本陣跡、一里塚、西の見付け、田楽茶屋、吉御子神社を回り石部宿の賑わいに思いを馳せる。真明寺では住職が出てこられて本堂前の芭蕉の句碑の由来を詳しく説明していただきました。

お天気にもぐまれて、のんびり、豊かな、楽しい一日でした。

閑宿散策か？つつじの花見か？と早くも27年度の計画を練っています。

無理なく、気軽に楽しめるハイキング同好会です。

会員募集中！！ 興味を感じた方はご連絡ください。

連絡先 会長 菊本洋三 TEL&FAX 0748-70-3272

事務局 高山雅史 TEL&FAX 0748-77-5596

グランドゴルフ同好会

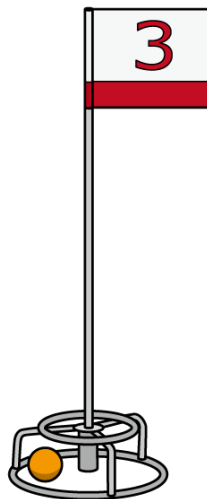
会長 木田 勝彦 (スポ 22期)

レイ大 甲賀・湖南支部同窓会 会員の交流の場の一つとしてグランド・ゴルフ (以下G・G) 同好会があります。

会員の皆様の中には既に各地でG・Gを行っておられる方が多いかと思えます。一方でゴルフはもう体力的に少しきついが、ゲートボールは少し運動量が少ないと思っておられる方は、是非一度G・Gをされては如何ですか。

最近の同好会の活動は、甲賀・湖南市の各地を点在する常設のG・G場を利用して年6回程度活動しています。回を重ねるごとに仲間意識が深まり和気あいあいと楽しいひと時を過ごしています。四季折々の季節の移り変わりを肌で感じ、元気が一番とお互い楽しんでいきます。

会員の皆様の中で経験のない方も、ベテランの方も、朝のNHKのドラマ「マッサン」ではないですが、“まず、やってみなはれ！！”をご案内します。



【平成26年度 活動報告】

第1回	H26.4.10	水口・野洲川G G場	参加人員	13人
第2回	H26,6,13	甲南・杣川G G場	参加人員	13人
第3回	H26,7,18	湖南市親水G G場	参加人員	12人
第4回	H26,9,4	土山・大河原G G場	参加人員	10人
第5回	H26,10,30	水口・野洲川G G場	参加人員	17人
第6回	H27,2,19	水口・野洲川G G場		
第7回	H27,3,19	水口・野洲川G G場		



グランドゴルフ同好会
 入会希望の方は
 年会費 500円
 申し込先 木田 勝彦
 甲賀市水口町三大寺11
 TEL 0748-62-4059
 氏名・住所・卒業学科・期
 を記載してください

支部からの報告

総務研修部

総務研修部長 植西 偉文(陶芸 28期)

今年度も各理事さんの協力を得て、昨年度と同様の諸事業を終えることができました。ここに会員の皆様の御支援とご協力に御礼申し上げます。各事業の活動内容を報告いたします。

(1) 新入会員歓迎会

35期の卒業生9名が入会されました。平成26年10月3日、新入会員3名と現会員34名の出席を得て水口中央公民館で歓迎会を開催しました。30期・陶芸卒の藤岡 茂樹氏による「地球一周の旅より」の講演のあと、昼食を共にし、楽しいふれあいの場となりました。(詳細は、「甲賀・湖南通信(NO3)」) 新入会員の皆様は次のとおりです。

住所	氏名	学科
湖南市針	八田 利明	園芸
湖南市中央	稲葉 裕子	園芸
湖南市朝国	坂 小百合	地域文化
湖南市柑子袋	米沢 正三	園芸
湖南市中央	小島 美朗	園芸
湖南市岩根	奥山 孝祐	びわこ環境
湖南市針	田栗 正文	北近江文化
甲賀市水口町	野口 観道	陶芸
甲賀市甲南町	尾野 時夫	健康づくり

会員数の推移を地区別に見ますと次のとおりです。

滋賀県レイカディア大学同窓会 甲賀・湖南支部 地区別会員数の推移

地区	H25年10月	H26年4月	新入会員	H26年10月	増減
石部	12	12	—	12	—
甲西	29	26	7	33	4
水口	42	36	—	36	△6
土山	12	12	—	12	—
甲賀	15	15	—	15	—
甲南	20	14	2	16	△4
信楽	12	12	—	12	—
合計	142	127	9	136	△6

(2) 趣味の作品展

新入会員歓迎会と同時に、出展者29名の作品を展示しました。それぞれ精進された素晴らしい作品に感動したところです。出品いただいた皆様、ありがとうございました。(詳細は、「甲賀・湖南通信(NO3)」)

(3) 1日研修

11月18日、33名の参加を頂き、灘の白鶴酒造を見学、明石海峡大橋をわたり淡路島へ、線香つくりの薫寿堂を見学、昼食後淡路島七福神大黒天・八淨寺を参拝。一日のあわただしい旅行でしたが、参加者の皆様の御協力により有意義に過ごすことができました。(詳細は、「甲賀・湖南通信(NO3)」)

健康福祉部

健康福祉部長 奥本 静子(生活 31期)

好例のグランドゴルフ大会を、会員の皆様の厚い熱意と御協力で開催することができました。また、今年度からボランティアへの取り組みの議論をいただいているところです。

(1) グランドゴルフ大会

- 第1回大会 6月30日(月)好天 甲南杣川グランドゴルフ場 参加者24名 記事は「甲賀・湖南支部通信 (NO.1)」をご覧ください。
- 第2回大会 12月4日(木) 野洲川グランドゴルフ場で計画しましたが、生憎の雨で中止となりました。会員の皆様の厚い要望に応じて1月20日(火)に再度計画しました。記事は、村上幸一様にお願ひしました。

(2) ボランティア活動への取り組み

地域への社会貢献のため、支部としてもっと積極的に取り組む議論を頂き、既に配布いたしました「ボランティアアンケートの趣旨」をまとめ、アンケートをお願いしたところです。来年度は、アンケートの結果を踏まえさらに深度化していきたいと考えています。皆様の御協力をお願いいたします。

第2回グランドゴルフ大会

村上 紘一(スポ 23期)

雨のため延期されていた支部主催の第2回グランドゴルフ大会が、1月20日(火)、水口の野洲川グランドゴルフ場で、午後1時30分から始まりました。この日の参加者は、支部長以下25名。

健康福祉部長の奥本静子さんの「全員怪我をせず、元気を出して頑張りましょう」のエールを受けてそれぞれ決戦の場へ。

芝は枯れていてボールの転がりが速く、みんな対応に苦労していました。しかし、上手な人は上手で、それなりの人はそれなりに頑張っていました。

風は冷たく冬特有の晴れたり曇ったりの天気でしたが、晴れた時の日差しは暖かく春間近を感じました。野洲川グランドゴルフ場にこだまする皆さんの笑い声。甲賀・湖南支部の団結をより強めた一日でした。



熱戦の結果は以下の通りです
(敬称略)

優勝 畑中良一

準優勝 小林 龍朔

3位 木下 みえ子

(以下省略)

広報文化部

広報文化部長 北阪 佳央(園芸 34期)

例年の「甲賀・湖南支部だより(第14号)」の発行に加えて、今年から「甲賀・湖南支部通信」を3回発行することができました。支部通信 NO1 は全3ページで、グランドゴルフ大会の記事以外は執行部の記事のみでありました。しかるに、NO2以降の記事は、会員の皆様のボランティア活動記録等各所でご活躍の様子がわかるようになり、ページ数も増加してきました。当初の目標である「会員相互の情報交換の場」となりつつあるのではないかとうれしく思います。

これもひとえに会員の皆様及び支部長はじめ役員の皆様の御協力と広報部の皆様の御努力によるものと深く感謝いたしております。

今後は、4月、7月、10月、1月の年4回、支部の情報誌として発行できればと思っています。

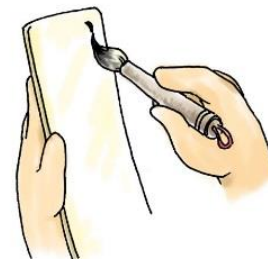
引き続き会員の皆様の地域での活動記・旅行記・自慢話・詩句・エッセイ・写真等々を御寄稿いただきますようお願いいたします。

みんなでこの情報誌を大きく育てようではありませんか！



みんなの広場

俳句



堀井 辰雄 (園芸 18期)

百回の木太刀の素振り息白し

健康保持のため、毎朝木刀の素振り百回と軽い体操を実施しています。
お蔭で自分では元気を思っています。

遠き過去二、二、六の事件聞く

昭和11年2月26日、陸軍青年将校によって、政府の要人が斬殺される事件がありました。それから1年後、日本は日中戦争をおこしたのです。

八十路ゆく友の訃報の寒さかな

満86歳になると同級同期生は1人2人とかけてゆきます。同級同期生の訃報は、心に寒さがしみ込んでくるようです。

鳳凰の宿る木の葉のパサリ落つ

桐の木は鳳凰の宿る木と言われているようです。
葉が大きいので落ちた音がしたように感じました

年忘れ今も戦友歌う友

数少ない同期生と毎年忘年会を開いています。酔うにつれ決まって軍歌の「戦友(ここは御国を何百里)」を歌う友がいます。私たちは元満州で数年間過ごしたことがあります。

健康談義・幼な友達と同期会で

北阪 佳央(園芸 34期)

秋本番、紅葉の便りの聞ける時期に、昔懐かしいふるさと、生駒の地でミニ同期会。昔とあまりにも違う近代化された駅周辺に驚き、久しぶりに会う幼な友達、みんな元気、懐かしく心癒される時だ。中学校卒業して56年、それなりにいい年している話は、誰からともなく健康談義



酒は適量、タバコはいいところ無し、適度な運動を、歩くのが一番か
 食事は、野菜を多く、油もの・塩ケは少なく、三度三度の食事は確実に
 腹八分目に薬いらず、腹六文目に医者いらず
 バロメータはBMI(=体重÷身長÷身長)、多くとも25以下に
 おかしいなと感じたときは医者と相談、早期治療
 頭の体操も忘れずに、数独、囲碁、将棋、トランプ、競馬等々、
 好きなことで頭を使い、老化を防ぐ、認知症にはなりたくない
 生涯、現役で、楽しい毎日を！



編集後記

東日本大震災から4年目の追悼式、ラグビーW杯の12開催地に震災地の釜石・神戸が選ばれる、ドイツのメルケル首相来日、未だ抜けきらぬ政治と金、プロ野球オープン戦・大相撲大阪場所(関取<席取り>好調)なにわの春、JRのダイヤ改正等々・・・3月も、多くの出来事がありました。

中でも気になる語録です。

- ◇ 東日本大震災の追悼式で遺族代表者の言葉、「生きていくことが恩返し」
- ◇ ドイツのメルケル首相のメッセージ「過去の総括が和解の前提」
- ◇ 政治と金問題、「知らなかった」と言えば違法でないという不思議な法律

そして、JRのダイヤ改正、「トワイライト」「北斗星」のラストラン、北陸新幹線「かがやき」の運行始まるはテレビに釘付けにされる1日でした。トワイライトの後継車の誕生、大阪～金沢間の新幹線開業が待ち望まれます。



さて、お蔭さまで「甲賀・湖南支部通信」を3回発行できました。今回の「甲賀・湖南支部だより(第14号)」は、支部通信と重複する等今年度の纏めのようなものになってしまいました。

本誌は、予算のことがあって、原稿収集・版下作成・印刷・製本はすべて部員の皆様の手作りで支えられています。体裁も見劣りしますがご容赦下さい。カラー印刷も検討しましたが、費用的に残念せざるを得ず、表紙と最後ページのみ、カラー用紙を使ってみました。

今後、いろいろな意見を頂戴し本誌を改良していきたいと思えます。

例えば「表紙の写真」を皆様から募集したく思っています。地域での活動風景写真・盆栽、陶芸品等の作品・地元の神社・仏閣等著名施設等寄稿をよろしくお願ひします。

もう一つは、掲載された記事に対する意見を述べていただく方を決めて、次号にその意見を掲載するモニタ制度です。一考お願いいたします。

いろいろお願いごとばかりですが、本誌がより充実した情報誌となりますようご協力をお願いします。
 新しい年度を迎え、会員の皆様の御健勝とご活躍をお祈りします。

(北阪 佳央 記)